



岡田

ふるさとの やさしさを
たくわえて 志高く生きる
岡田の子

舞鶴市立岡田小学校

学校だより

夏休み号

令和6年7月19日

「自分にもいいところがある」につながる「チャレンジ」

照りつける太陽、青空にまるで生きているかのように大きくなっていく入道雲、たくさん咲いたアサガオの花を見ると、夏らしさを感じます。また、線状降水帯の影響を受け、各地で浸水・洪水の様子を見ると、止められない自然の力に恐怖を感じる日々です。そんな中、5年生は7月11日、12日の2日間、宮津の「マリーンピア」にて野外活動を行いました。由良川小学校の5年生9名と岡田小学校の5年生7名の合計16名で、カッター訓練、野外炊飯やキャンプファイヤーなど、子ども同士で声を掛け合い、助け合いながら活動を進めていくものでした。日々は一緒に生活しているわけではないので、数回の交流会の中で大まかな段取りを行い、本番を迎えることとなりました。私は、5年生の行動力と助け合う心に感心しました。とにかく声を掛け合い、チャレンジする姿。できると信じて頑張っている様子にたくましさを感じました。この2日間を存分に楽しんでいるように見えました。どうしてそれができたのか。担任からの「失敗はない。もし失敗があるとしたら、チャレンジしないことだ。」の言葉と「困った時には助けてくれる仲間がいる安心感」があったからだと思います。今回の野外活動で5年生は自分のよさに気付くチャレンジができました。



本日、70日間（警報でお休みの日を除く）の1学期が終了しました。大きな事故やけががなく本日を迎えられましたのも、保護者の皆様や地域の皆様の温かいご支援やご協力のおかげであると感謝しております。

明日から始まる夏休みは40日。この期間は家庭・地域中心の生活になります。

毎年行っていることですが、子どもたちは夏休みを前に1日の生活リズムを計画しました。計画が立てられているか、確認してみてください。（まずは具体的に立てられていたら素晴らしい）そこからわかるように「こういう生活をしたい」と思っていますし、しなければいけないとわかっています。計画通りにいかないことも多いかもしれませんが、やり切ったときに大いに認めてください。そして次の意欲につながる声をかけてみてください。40日後、「自分にもいいところがある」と胸を張って言えることが一つでも二つでも増えていれば大成功です。

元気にそして安全に、一日一日を有意義に過ごしてくれることを願います。

舞鶴市立岡田小学校 校長 森 祐子
教職員一同

先日新聞を読んでいると「自己肯定感」について書かれていました。簡単にまとめると「やることなすこと上手いかず自信を失いそうになった時、『自分なら乗り越えられる』と励まし『先によいことが待っているかも』と希望を見出すことができる力を支えるものが自己肯定感」だということでした。上手いかない時にこそ、心折れることなく次に向かえるしなやかな心は必要です。この記事より、「自分にはいいところがある」と思える自信（自己肯定感）を持たせる必要性を再確認しました。学校でもこれから先の人生においても、思い通りいくことばかりではありません。子どもたちの成長に教師がしっかり気付き、それを伝えることを大切にしながら、子どもたちが「自分の変化に実感できる」「自分に自信が持つ」ことができるように関わっていきたいと考えます。

HP 順次更新中

okada-maizuru.edumap.jp

QR の読み込み OK



豊かな学びを創り、ともに育つ学校
岡田小学校